

環境質等の追加調査

使用済活性炭が原因である可能性が極めて高いと考えられ、流出経路として、①使用済活性炭から溶出、②使用済活性炭直下の土壌へ浸透、③地下水へ混入、④西側沢 F 1 地点へ流出、を想定している。

1 使用済活性炭から溶出

・ 使用済活性炭の溶出試験で、最大4,500,000ng/Lを検出

・ 資材置場の表層土壌の溶出試験で、最大750,000ng/Lを検出

・ 資材置場周辺の表層土壌の溶出試験で、最大47ng/Lの検出（資材置場の表層土壌とは1万倍以上の差）

2 使用済活性炭直下の土壌へ浸透

・ 資材置場の表層土壌の溶出試験で、最大750,000ng/Lを検出

・ 資材置場周辺の表層土壌の溶出試験で、最大47ng/Lの検出（資材置場の表層土壌とは1万倍以上の差）

3 地下水へ混入

・ 資材置場の表層土壌の溶出試験で、最大750,000ng/Lを検出

・ 西側沢 F 1 で62,000ng/Lを検出

4 西側沢 F 1 へ流出

・ 資材置場の表層土壌の溶出試験で、最大750,000ng/Lを検出

・ 資材置場周辺の表層土壌の溶出試験で、最大47ng/Lの検出（資材置場の表層土壌とは1万倍以上の差）

・ 西側沢 F 1 で62,000ng/Lを検出

・ 資料 8 : 資材置場周辺の標高図

・ 資料 9 : 資材置場周辺の道路建設時の設計図面